

編集後記

あけましておめでとうございます。2019年新春号である、60巻1号をお届けいたします。本号は、新春号というだけではなく、小児科誌にとって60周年を迎えての第1号となり、本誌の編集に携わるものとしては灌漑深いものがあります。いわば還暦を迎えたこととなりますが、子どもたちの健やかな成長、病む者のよりよい改善に向けて、さらに貢献していきたいという思いを、編集者一同新たにするとことです。

そこで本号では、小児科医であればどの専門分野であっても必ず担当し、悩むことがあり、喜ぶことのある、Down症候群についての特集を組みました。小児科に限らずどの診療科であってもDown症児の支援にあたっては協力と連携が必要であり、循環器領域、感染免疫領域、消化器領域、血液領域、整形外科領域、耳鼻科領域、精神運動発達、など、広範な専門各科における「Down症候群」について執筆をお願いしました。「出生前診断」で大橋博文先生は「そもそも胎児の生きる権利と女性の望まない妊娠を避ける権利は対立状態となる」「産むか産まないかの判断は個人個人の判断にゆだねられることは当然と思う。しかし、妊婦が、障害があるとわかっても子どもを産み育てたいと思う時には、その気持ちが尊重され、支えられなければいけない。障害をもつ

て生まれた子どもと家族を支える包括的な支援体制の整備を進めることが望まれる」と述べられておられます。「成人期に達したDown症候群」（竹内千仙先生、望月葉子先生）では、「Down症候群者の生活や健康管理が小児期から成人期へ円滑に連続し、よりよい成人期、高齢期を過ごすための研究と支援が必要とされている」と述べられています。Down症候群をもつ当事者としての岩元綾氏の「その命を生まれる前からなくすよりも、ダウン症や障害のある人、すべての人が生きやすい社会をつくるのがさきではないかと思います」という一文を引用した大橋先生は「この言葉のもつ意味は大きい」と結んでおられます。

「かまくら春秋」という小さなタウン誌に、Down症の書家・金澤翔子氏を育てた母である金澤泰子氏による「共に生きる」が毎号執筆されていますが、併せてご一読をお勧めします。

本号から「小児科臨床教育の実際」という新連載を開始しました。第1回目は『「子供を診る能力」の育成—卒前教育・初期研修・専門研修』（鈴木康之先生）です。ぜひご一読ください。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（岡部 信彦）

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第60巻 第1号 1月号
2019年1月1日発行（毎月1回1日発行）

定価（本体2,700円＋税）

年間購読料金
定価（本体42,100円＋税）

〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕

Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕

Fax 03(3813)0288

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。